

亜急性毒性試験

農薬を2種類のほ乳類動物(マウス、ラット、イヌ等)に1~3ヶ月の期間毎日投与することにより、標的臓器等その農薬に起因する毒性影響についての情報を得ることや1年間慢性毒性試験の用量を設定するための情報を得ることを目的とした試験。各パラメータについて、対照群の平均値との差を統計検定する。

検査項目

1. 体重、死亡率、摂餌量、摂水量、臨床症状
2. 尿検査 3. 血液検査 4. 眼科学的検査
5. 病理学的検査(剖検、臓器重量、病理組織学的検査、肉眼的所見等)

投与量について

低濃度から高濃度まで複数の濃度レベルを段階的に設定し、それぞれの濃度で発現する毒性を記録する。

- 最高用量……毒性の特徴を明らかにするため、毒性の認められる用量とする。
- 最低用量……何ら毒性影響が認められない用量とする。